

令和2年12月

新入生・在学生の皆さんへ

大東文化大学

学長 内藤 二郎

個人用パソコンの必携化について（お願い）

情報化が進む現代社会においては、情報通信技術をはじめとする様々なツールを使って、自分が求める資料や情報を集めることが必要になります。特に大学での学修・研究においては、先行研究の渉猟やデータの収集・活用などが必須であり、膨大な情報の中から必要なものを探し出し、それを活用するノウハウが求められます。必要な情報を探し出すツールとして皆さんがまず思い浮かべるのは、スマートフォン（スマホ）ではないでしょうか。実際に、手軽に調べられるという点では、スマホやタブレットはとても便利です。ただ、大学で学修するためにはスマホやタブレットのみでは、限界があります。

上記のインプットに加え、アウトプットも重要です。例えば、調べたデータを活用して分析したり結果を表やグラフ化する、分析に基づき自分の考えを文章にまとめる、さらに他の人に分かりやすく説明するために、プレゼンテーション用の資料を作成し、発表する、といったことも求められます。そして4年間の集大成として、卒業論文や卒業研究にまとめます。このような一連の大学での学修においては、持ち運び可能なパソコン（PC）は必携です。

もちろん大学の情報教室や図書館にはPCが用意されていますので、学生の皆さんは基本的にはそれを自由に使うことができます。しかし、必要な時にすぐ調べたり、文章を書きたい時にすぐに使えるように、持ち運びができる自分専用のPCを常に携帯しておくことが益々重要になっています。今回のコロナ禍で遠隔授業が実施され、学生の皆さんも私たち教員も、好むと好まざるとにかかわらず情報機器に大きく依存し、向き合わざるを得ない状況でした。今後もこのような状況が起こる可能性は否定できません。また、コロナ後においても、情報化がさらに進むことは間違いなく、こうした状況への備えとしての意味もあります。

パソコンを購入するにはある程度お金が必要です。ただ、教科書や参考書の購入とともに、PCをはじめとする通信環境を整えることは、大学生にとって最も重要なことのひとつであり、学修成果を高めるとともに、社会に出てからも必要不可欠となるパソコンスキルを身につけておくための投資でもあります。極めて優先順位の高いものであることを理解し、早期に準備するようお願いいたします。なお、Office365（マイクロソフト社のソフトウェア）は、大学で無料でインストールすることができます。